

2012.03.27 祖母山山行報告書

担当：M1 今村志郎

1. 参加メンバー(敬称略五十音順、学年は山行当時)

M2：荒川 M0：今村 田中 久本

2. 行程

延岡市内 06:50→北谷登山口 08:40→09:30 千間平 09:40→茶屋場 10:00→10:30 国観峠 10:35→11:15 祖母山山頂 12:05→風穴 13:30→北谷登山口 14:20

3. 報告書(敬称略)

ホテルを 7 時前に出発、レンタカーで登山口を目指しました。8 時 40 分頃登山口に到着しました。登山口から頂上までは 5 キロ程度で 1 合毎にその案内がありました。



(08:55 荒川撮影)

上りは全般的に緩やかでした。今年は寒さが長く続いたため心配していた残雪などもほとんどなく、順調に登っていくことが問題なくできました。下の写真は三県県境を示す看板です(宮崎側から熊本側に抜けました)。この後も途中千間平で写真などをとりつつ少し休んだりしながら問題なく登って行きました。



(10 : 02 荒川撮影)

この県境を過ぎて少し行くと開けた場所(国観峠)に出ました。



(10 : 32 荒川撮影)

ここでは大変見事な指ほどの長さのある霜柱を見ることができました（今まで霜柱を見た

ことが無かったので大変感動しました）。



(10 : 33 荒川撮影)

国観峠から少し行くと 9 合目の小屋のしゃれた案内の看板がありました。



(10 : 59 荒川撮影)

この小屋のあたりから、残雪や霜、つらら等が増えてきましたが、山行に支障をきたすようなものはなく、避けつつ登ることができました。



(11 : 00 荒川撮影)

下の写真では岩についた氷がまるで川の水面のように見えます。



(11 : 09 荒川撮影)

普段見られない光景を堪能しつつも程なくして 11 時 15 分に山頂に到着しました！！



(12 : 08 久本撮影)

山頂からは翌日登る大崩山を初めとする多くの山を望むことができました。山頂で 1 時間ほど休み、昼ご飯を食べました。さて、下りでは登りとは異なる風穴ルートをとりました。



(13 : 30 荒川撮影)

上の写真は風穴。非常に深い穴があり、この穴の回りでは息が白くなるほど気温が低かったです。

風穴ルートは登りルートより若干険し目でしたが、下りだったので、そう大して苦しむこともなく下山することができました。



(14 : 20 荒川撮影)

今回の山行は体力的・技術的には楽目の山行でしたが、今まで筆者が参加した山行が全て初夏から初秋までだったため、今までは見ることはできなかった霜柱、つらら等を初めて見る美しい光景を目にすることができた大変有意義な山行となりました。